

# お口爽やかですか

テーマ お口の健康とからだの健康フォーラムのご案内

## 健康が気になる全ての方に！

### 11月9日、歯周病と糖尿病の関連についてフォーラム開催

11月9日(日)午後1時30分から、大雪クリスタルホール大会議室にて、一般市民や歯周病・糖尿病の患者、医療関係者を対象に、歯周病と糖尿病の予防をテーマにフォーラムが開催されます(参加無料、定員180人、申込問い合わせ先・市保健所健康推進課健康推進係 ☎0166・26・1111 内線2952)。

11月9日(日)午後1時30分から、大雪クリスタルホール大会議室にて、一般市民や歯周病・糖尿病の患者、医療関係者を対象に、歯周病と糖尿病の予防をテーマにフォーラムが開催されます(参加無料、定員180人、申込問い合わせ先・市保健所健康推進課健康推進係 ☎0166・26・1111 内線2952)。

#### 糖尿病と歯周病はお互いに悪い「負の連鎖」の関係にある

糖尿病は今や世界の成人のおよそ5〜6%となる、2億4600万人が抱える病気です。

一般的に死に至る病気との認識は薄いですが、年間、実に380万人以上が糖尿病の合併症などが原因で死亡しています。これは世界のどこかで、10秒に1人が糖尿病に関連する病で命を奪われている計算になります。

また近年、歯周病と糖尿

病の関連性についての研究が進み、互いに悪影響を及ぼしていることが明らかになっていきます。軽度の歯周病や糖尿病も自覚症状に乏しく、多くの方たちは疾患の原因となる生活習慣や肥満を放置しがちです。

どちらか一方の治療を受けている患者さんも、互いに悪い影響があることを知らずにいるケースが少なくなく、医療関係者の間でも互いの悪い影響に注目し、避ける努力が求められています。

#### 「いい歯の日」と「世界糖尿病デー」の啓発合同イベント

こうした中、上川中部地域歯科保健推進協議会および旭川市、旭川歯科医師会、旭川市医師会などが共催で、

11月8日のいい歯の日(日本歯科医師会制定)と、11月14日の世界糖尿病デー(国連・WHO制定の一環として、本フォーラムを企画実施することになりました。)

各分野の専門家からそれぞれの病気の原因や予防管理と関連性を解説した後に、各講師を交えて「歯周病と糖尿病の負の連鎖を断ち切るために」と題した討論を、座長である旭川医大歯科口腔外科教授・松田光悦氏が行います。

各演題と講師は次の通り。

- ▽「歯周病と糖尿病の負の連鎖の実態」旭川医大口腔外科学講座講師・竹川政範氏
- ▽「糖尿病のリスク要因と予防管理」旭川医大内科学第二講座准教授・伊藤博史氏
- ▽「歯周病のリスク要因と予防管理」北海道医療大学歯周病内治療学教授・古市保志氏
- ▽「療養環境を整える」旭川医大病院糖尿病看護認定看護師・法月章子氏。

#### 歯周病は成人の約8割、糖尿病とその予備軍は3人に1人

歯周病は、軽度を含め成人の約8割が罹患し、壮年期以降の歯の喪失の主な原因となっています。

また、40歳以上の3人に1人が糖尿病または糖尿病予備軍である事実が、2006年の国民健康・栄養調

